

2015「神戸の集い」私の感想

2015年2月16日

氏名(会員番号)	池田 邦昭 (002)	参加回数	数 回目
参加した場所 (番号に○印)	1○ 被災の記憶を巡る(神戸市役所-神戸大学 -人と防災未来センター) 2○ 芦屋市役所(今石さんより:被災から20年) 3○ 荏本先生・参加者との懇親会 4○ 1. 17つどい(慰霊式典)参加 5△ 人と防災未来センター(前掲) 6○ その他 (1)和歌山市(観光) (2)奈良県庁(飛び込み)資料入手 * 平成23年紀伊半島大水害の記録(1月談義資料) * 教材:奈良県作成の県災害史		
印象に残ったこと	上記 1. 20年経過して、神戸市は当時の避難所資料公開を開始。 避難所の実像を確認検証が期待され、早急に対応策に生かされたい。 2. 3. 11発生時東北の被災地より、全く何もないと救助の叫び、1. 17の時の 芦屋市への協力のわずかな記憶を頼りに、救援を求めてきた。 東北の被災地到着日程を想定し、阪神の災害時のXX日後の必要物資は、 被災の記憶を生かした必要物資、トラック2台分(数百万円)贈った。 4. 最近参加時の厳粛さはなく、20年と節目の年、多数の参加者で埋め尽く されていた。		
今回参加した感想	* 新たな資料が公開され、早く生かされるように期待したい。 * 残念:松山先生とお会い出来ませんでした。(懇親会準備)		
その他	* 奈良県作成の県災害史教本は、神奈川県でも教材としてばかりでなく、 市民・行政にも、身近に必要と思います。(同様神奈川県教材未確認?)		